

2014. 5. 23

渡航情報（スポット情報）

（件名）

ケニア：ケニアにおけるテロの脅威に関する注意喚起

（内容）

1 5月22日、ソマリアのイスラム過激派組織「アル・シャバーブ」の幹部がウェブサイトに掲載された演説の中で、アル・シャバーブは聖戦を実行する場所をケニアの首都ナイロビに移したと述べ、ナイロビで若者による自爆攻撃を行うと警告しました。また21日にも、別の幹部から、ケニアと米国においてさらなるテロを行う旨警告しました。

2 ケニアでは、ナイロビ及びモンバサを中心に、レストラン、ナイトクラブ、教会、バス等に対する爆弾テロ事件がこれまで多発しています。22日にも、モンバサ市内のピアシャラ通りで手りゅう弾が爆発し、3人が負傷した旨報じられています。

3 ケニアに渡航・滞在される方は、上記の情報に十分留意して最新の治安情報の入手に努めてください。特にダダーブを含めたソマリア国境付近には近づかないようにし、また、テロが頻発しているナイロビ市内のイスリー地区及び隣接するパンガニ地区、カムクンジ地区、カサラニ地区への立入りや、バス等現地の公共交通機関の利用は極力控え、政府・治安関連施設、国連関係施設、宗教施設へもできるだけ近づかないようにしてください。外国人が多く利用する施設や人が多く集まる施設（ホテル、ショッピング・モール、レストラン、ナイトクラブ、空港等）を利用する際には細心の注意を払い、不審な状況を察知したら速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努めて下さい。

4 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場の同僚等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。また、テロ事件等に遭遇した際には、在ケニア日本国大使館に速やかに連絡を取るようお願いいたします。緊急事態に備え、携帯電話にあらかじめ大使館の連絡先（電話：+254-（0）20-2898000）を登録するとともに、質問等がある場合は、大使館領事・警備班宛（大使館領事メール：[ryouji@nb.mofa.go.jp](mailto:ryouji@nb.mofa.go.jp)）にご連絡ください。3ヶ月以上滞在する方は、緊急事態に備え必ず在留届の提出をお願いいたします（<http://www.ke.emb-japan.go.jp/RyoujiZairyutodoke.html>）。

ケニア：「渡航情報」

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo.asp?id=100#ad-image-0>

(問い合わせ先)

- 外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐に関する問い合わせ）  
住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1  
電話：（代表）03-3580-3311（内線）3680
- 外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐に関する問い合わせを除く）  
住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1  
電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
- 外務省領事サービスセンター（海外安全担当）  
住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1  
電話：（代表）03-3580-3311（内線）2902
- 外務省 海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>  
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）
- 在ケニア日本国大使館  
住所：Mara Road, Upper Hill, Nairobi, Kenya  
(P.O. Box 60202, Nairobi)  
電話：（市外局番 020）2898000（代表）  
国外からは（国番号 254）20-2898000（代表）  
FAX：（市外局番 020）2898220  
国外からは（国番号 254）20-2898220  
ホームページ：<http://www.ke.emb-japan.go.jp/j-index.html>